

A3591

東京メトロ7000系 後期型 更新車
副都心線 8両セット

予価:28,800円(税別)

JANコード: 132234 カートン内入数: 12

商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)
実車	営団地下鉄(現:東京メトロ)では、1974(昭和49)年に有楽町線の開業に伴って7000系電車を登場させました。前面貫通路上部には種別表示窓が設置され、側面表示器も前後両端に設置されるなど、将来の相互直通乗り入れに対応した装備を持ち、ラインカラーを模した黄色の車体帯が入れられました。路線延伸や利用客の増加に伴って5両編成の10両編成化が行われたほか、1982(昭和57)年製造のグループからは側面窓が一段下降式のものに改められたマイナーチェンジ車が登場し、翌年の有楽町線の池袋～営団成増間延伸開業に伴って活躍を開始しました。2006(平成18)年の副都心線開業に伴って一部の7000系を転用する改造が開始されました。このうちマイナーチェンジ車を改造したグループは客用扉の大窓化、冷房装置の変更、制御装置のVVVFインバータへの変更などの更新工事が行われたほか、編成の組み換えを行って中間車2両を減車した8両編成化が行われました。地下鉄副都心線のほか、乗入先の西武線、東武線、また今後は東急電鉄、横浜高速鉄道への乗入れが予定されており、さらなる活躍が期待されています。
商品概要	・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実 ・副都心線で活躍中の東京メトロ7000系を製品化 ・ヘッドライト、テールライト、行先表示器点灯。LED使用 ・フライホイール付動力ユニット搭載

アルミボディに茶色と黄色と白色の帯

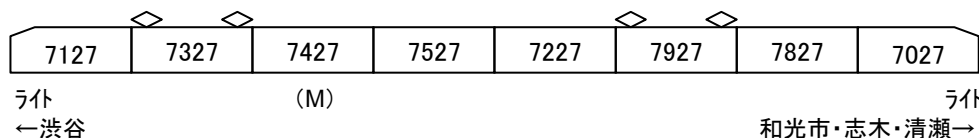


- ・客用扉が大型化され、クーラーが大型化された姿
- ・足を引き締める波打車輪使用



東京地下鉄株式会社商品化許諾済

編成図 A3591



オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・灰:F0002

付属品 行先シール